



### 班で学び合いタイム

そして、短冊をもとに疑問や調べたいことを話し合います。ここで、疑問を1つ選び、予想をたてます。

カイコの成虫の足は、何本になるのだろう。

### 学級で学び合いタイム

最後に、子供たちの疑問を、「体のつくり」、「育ち方」、「住みか」、「他の虫とのちがい」の4つに分けます。そして、カテゴリーごとに問題を作成します。



虫の育ち方についての疑問がたくさんでたね。どんな問題が作れるかな。

### <3年3組で作成した問題>

- ①虫の体の作りはどうなっているのだろうか。
- ②虫はどのように育つのだろうか。
- ③季節ごとの虫のちがいは、どんなことがあるのだろうか。

### <教職員による研究協議会から・・・>

- 自分の考えをもつという点ではよくできていた。しかし、話し合いについては、できた班、できていない班それぞれあった。
- 短冊について、分かりやすくて良い。仲間分けをするとき、教師主導ではなく、子供に分けさせてもよかったのではないかと思った。
- 班で出た疑問を一つにまとめ、予想をたてさせたのは、「高め合い」を意図したものであった。だが、班で絞ったことで、自分の学びがぼやけてしまったのではないか。予想をたてさせるならば、全員書かせたほうがよいと思った。

### <畑中喜秋先生による指導講評>

- ・虫は何種類みたか、カイコはいつから飼い始めたかなど、教員は児童の学習状況を把握しておくことが大切である。
- ・班で学び合いタイムでは、問題の整理の仕方を話し合う方が効果的だった。
- ・カイコの幼虫を提示したのは、疑問が拡散する原因の一つになった。「虫の疑問」を引き出したいのであれば、成虫の実物のみを提示した方がよかった。
- ・疑問をかかせるならば、虫の種類を絞ったほうがよりまとまったと思う。